

The background features a series of overlapping, abstract shapes in a deep blue color against a white background. On the left, there is a large, curved shape resembling a quarter of a circle. To its right, a series of downward-pointing triangles of varying sizes are arranged in a row, creating a jagged, mountain-like silhouette. The overall composition is clean and modern.

W O W O W

会社案内

見たい、の先へ。

こだわりの映像エンタメを届けつづけてきた私たちの情熱が、さらに進化します。
これからはここにしかない発見や学びで
人生の視野や楽しみ方が広がる体験までもお届けします。

30年目の初心

1991年4月1日、WOWOWは日本初の民間衛星放送局として有料放送事業を開始しました。ハリウッドの新作映画、世界のトップスポーツ、国内外の音楽ライブなど、珠玉のコンテンツを自宅のテレビで楽しめるという、それまでの日本社会にはなかった新しい価値を創造しました。以来数々のエンターテインメントをお届けして開局30周年を迎えることが出来ました。支えていただいた多くのお客さま、共に歩んできたクリエイターやアーティストの皆さまに、心から感謝申し上げます。

今日、インターネットを通じて多様なエンターテインメントを楽しめるようになり、事業環境は激変しました。WOWOWは、30周年を機に、もう一度社会に新しい価値を提供したいと思います。

2021年1月から、WOWOWはBS視聴環境が整っていても、インターネット環境があればWEB上でご加入いただけるようになりました。見逃せないスポーツも、オリジナルドラマも、「WOWOWオンデマンド」(以下、WOD)ですすぐて視聴いただけます。WOD専用のコンテンツも充実します。大型ドラマ企画もスタートします。さらに、テレビの大画面高画質で楽しみたい方には、3月1日より4Kチャンネル「WOWOW4K」が開局しました。テレビでもスマホでも、お客さまのライフスタイルに合わせてWOWOWのエンターテインメントをお楽しみいただきたいと思っています。

それだけではありません。これからのWOWOWは、「視聴する」だけでなく、お客さまが「参加する」「体験する」「応援する」コミュニティへと進化します。お客さまとクリエイターたちをインタラクティブに繋げ、エンターテインメントの文化を共に育んで参りたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症の猛威により、社会環境は一変しました。エンターテインメントの世界も厳しい状況が続いていますが、同時にその重要性が改めて認識されています。スポーツやエンターテインメントを通じて、社会が元気を取り戻し、人々の生活が楽しくなるお手伝いが出来れば幸いです。

どうぞ変革するWOWOWにご期待ください。

代表取締役 社長執行役員
田中 晃



WOWOWはもうテレビだけじゃない。これからはスマホやタブレットでも。

BS視聴環境が整っていない方でもWOWOWが楽しめるようになりました。パソコン やスマホ、タブレット、テレビなどでWOWOWを存分にお楽しみいただけます。

WOWOWの視聴について

2つのお申し込み方法

1

テレビ
や
録画で
見たい!

放送経由で
申し込み

WOWOW
プライム

WOWOW
ライブ

WOWOW
シネマ

WOWOW
4K

高画質・高音質
録画も可能



ネット環境があれば、放送も配信も
どちらの視聴方法もご利用いただけます。

2

スマホ
や
タブレットで
見たい!

配信経由で
申し込み

NEW!

WOWOW
オンデマンド

24時間3チャンネル
放送同時配信
ライブ・見逃し・一挙見も



B-CASカード番号またはACAS番号で放送視聴登録
していただくと、放送サービスもご利用いただけます。

ようこそ、新しく生まれ変わったWOWOWオンデマンドへ。

WOWOW
オンデマンド

珠玉のエンターテインメントを結集

オリジナルドラマを多数配信

WOWOW 独自のドラマ製作プロジェクト「連続ドラマW」を中心に
魅力的なオリジナルドラマを配信しています。

オンデマンド限定コンテンツも続々登場

海外ドラマも日本初放送作品から旧作までオンデマンド限定で
配信するなど、これまで以上にボリュームアップします。

さらに使いやすく

お気に入り登録した番組の最新情報をプッシュ通知で
お知らせする機能や、検索機能の向上に加えて、オンデマンドと
プログラムガイドの二つのアプリ機能も一つに統合。ガイド誌の内容も
オンデマンドのアプリからご確認いただけるようになりました。

いつでも、どこでも。

外出先でも、番組を見逃しても大丈夫!
いつでもどこでもエンターテインメントをお楽しみいただけます。



放送同時配信

ライブ配信

アーカイブ配信

WOWOWの3つのチャンネル
で放送中の番組が、パソコン、
スマホ、タブレットから視聴
できます。*1

放送同時配信に加えて音楽や
スポーツの生中継など、
オンデマンド限定のライブ
配信も続々登場!

配信限定番組や過去に放送し
た番組、見逃した番組も一定
期間配信するなど用途に合わ
せてお楽しみいただけます。*2

*1 一部放送同時配信のない番組がございます。また、放送と比較して遅延が発生いたします。 *2 一部見逃し・アーカイブ配信のない番組がございます。番組によって配信期間は異なります。



詳しくはこちらへ
wowow.bs/ci_wod

WOWOW オンデマンド — 放送に先駆けた 一挙配信、限定配信コンテンツなど大充実!

開局30周年記念の大型番組や限定配信番組など、WOWOWでしか見られないオリジナルコンテンツが充実。アニメ や海外ドラマの限定配信・一挙見から音楽やスポーツのライブ配信までWOWOWオンデマンドひとつで楽しめます。

オリジナルドラマ 過去作から最新作まで随時更新



オリジナル番組 多彩なコンテンツが続々登場



海外ドラマ 限定配信のシリーズやアジアドラマも充実



アニメ 限定配信の注目作品がめじろ押し!



スポーツ 試合のライブ配信やオリジナル番組も充実!



※本ページ記載のラインナップには、配信期間が限られているものも含まれます。今すぐ楽しめるコンテンツは、WOWOWオンデマンド内でご確認ください。

詳しくはこちらへ▶ wowow.bs/ci_wod



彩りを感じる体験を。

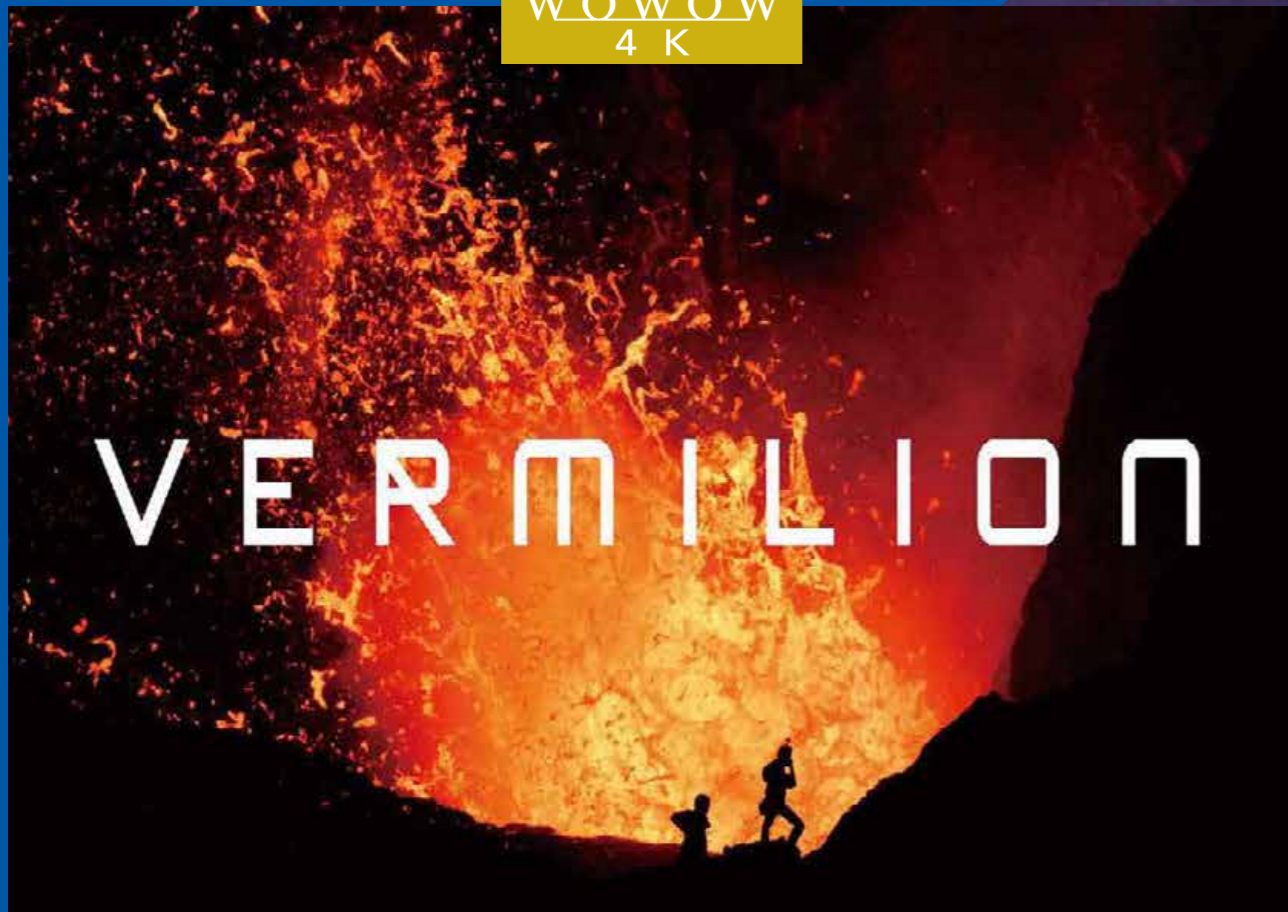
2021年3月1日正午、開局。
開局30周年を迎えたWOWOWは、新チャンネル「WOWOW 4K」を立ち上げました。
4K放送ならではの映像美。WOWOWならではの番組セレクション・映像体験。
これらを融合し、ここでしか味わえない至高のエンターテインメント体験をお届けします。

映像を超えた体験へ。

新しいWOWOWでは、映像を観るだけではなく好きなジャンルや番組を
もっともっと楽しむことができますようになります！
視聴だけにとどまらない新たな楽しみ方を提供する新サービスがスタート。
映像を軸に、参加・応援・体験というインタラクティブなつながりを提供します。

4Kだからこそ味わえる圧倒的な映像体験

WOWOW
4K



VERMILION 赤く輝く神の山「ヤスール」 | THE GREAT BELOW 世界最大の洞窟 ソンドン探検記 | BLUE HORIZON 成層圏から見た地球

詳しくはこちらへ
wowow.bs/ci_4k



新しい
WOWOWで
体験できること



ここでしか体験できない
プレミアムイベント



試合前から終わりまで
一緒に楽しめる



生放送や新番組の
企画づくりに参加



WOWOWテニスワールド

試合前のワクワク、試合の興奮、試合後の余韻までテニスのすべてを楽しみ尽くす

詳しくはこちらへ
wowow.bs/ci_wtw



電波少年W ～あなたのテレビの記憶を集めた～い！～

テレビ番組の記憶を呼び起こし、
語り合い、ファンと制作者で
番組を楽しむ

詳しくはこちらへ
wowow.bs/ci_dsw



HI-FIVE MAGAZINE

アーバンスポーツの魅力
競技シーンとストリート
カルチャーの両面から楽しむ

詳しくはこちらへ
wowow.bs/ci_hf



あらゆるエンターテインメントの最高峰だけを。

世界中から選りすぐりのエンターテインメントと、WOWOWでしか見られないオリジナル番組。オンデマンド配信と合わせて、自由に、好きなだけ楽しめます。



Movies

「ワールド・スピード・スーパーコンボ」 © 2019 Universal Studios. All Rights Reserved. 「高く飛んで闘い」 © 2020「高く飛んで闘い」製作委員会
 「コンフィデンスマンJP プリンセス編」 © 2020「コンフィデンスマンJP」製作委員会 「ランボロ」 © 2019 RAMBO V PRODUCTIONS, INC.
 ※上記は2021年放送作品です。



Awards

「第73回ザ・ゴールデングローブ賞」 © Getty Images 「第92回アカデミー賞」 © Getty Images 「第73回ザ・ゴールデングローブ賞」 © Getty Images 「第92回アカデミー賞」 © Getty Images



Original Drama



「連続ドラマW 美野吉房「さまよう刃」」 原作：美野吉房「さまよう刃」(角川文庫刊)
 「連続ドラマW 華厳なる一族」 原作：山崎豊子「華厳なる一族」(新潮文庫刊)
 「連続ドラマW インフルエンス」 原作：近藤史恵「インフルエンス」(文芸春秋刊)



Foreign Series

「The Man Who...」 © MAMMOET Productions
 All Rights Reserved. 「1/9」 © 2020 TV Drama
 「The Man Who...」 © 2020 China Huasen Film & TV Co., Ltd.



Animation

「ルビノール」 © 角川書店 「ルビノール」 © 角川書店
 「ルビノール」 © 角川書店 「ルビノール」 © 角川書店
 「ルビノール」 © 角川書店 「ルビノール」 © 角川書店



Sports

「テニス グランドスラム」 ナダル、パティ、大坂なおみ、錦織圭、クニン、ジョコビッチ Getty Images
 「スペインサッカー ラリーガ」メッシ、ジョアンフェリックス、アザール、松本大、久保建英 Getty Images、岡崎慎司 写真アフロ
 「エキサイトマッチ」 Getty Images 「LPGA女子ゴルフツアー」ダニエル・カン、岡田真知、コ・ジンヨン、ブルック・ヘンダーソン、ネリー・コルダ、河本結 Getty Images



Music

「WOWOW x UIC-ent-Girl Japan University Special Collaboration」
 「WOWOW x UIC-ent-Girl Japan University Special Collaboration」
 「WOWOW x UIC-ent-Girl Japan University Special Collaboration」



Others

「メトロポリタンオペラ ヘンデル「アグリッピーナ」」 © Paola Kudacki / Metropolitan Opera
 「スーパーヒーロー」 © Super Sneaker People〜 宝塚への招待「タカラヅカスペシャル2019—Beautiful Harmony—」 © 宝塚歌劇団
 © 宝塚クリエイティブアーツ 「BBC Earth 2021 アニマル・オアシス 人工池へようこそ」 © Isak Pretorius

詳しくはこちらへ
wowow.bs/ci_ac



WOWOW オリジナル

WOWOWだからこそ表現できるクオリティファーストの作品作りが、国内外で高い評価を得ています。ドラマやドキュメンタリーをはじめとした、あらゆるジャンルのエンターテインメントを作りつづけています。

ドラマW・連続ドラマW

ドラマWは、2003年に「真のエンターテインメント性に富んだドラマを目指し、作品のクオリティを極限まで追求する」というコンセプトのもとにスタート。2008年4月には、「ドラマW」のコンセプトのもとに、継続的にご覧いただけるオリジナルコンテンツを視聴者に届けたいという思いから「連続ドラマW」がスタートしました。以来、ハイクオリティで独創的なドラマが、次々と生まれています。



連続ドラマW
沈まぬ太陽 東京ドラマアワード2016 作品賞 連続ドラマ部門 優秀賞、ギャラクシー賞2016年9月度月間賞、平成29年日本民間放送連盟賞 番組部門 テレビドラマ番組 優秀



WOWOW×TBS共同制作ドラマ
MOZU
東京ドラマアワード2014 作品賞 連続ドラマ部門 優秀賞、吉田綱太郎 個人賞 俳優部門 助演男優賞(MOZU Season1 ~百舌の叫ぶ夜~)、北九州フィルム・コミッション 特別賞(MOZU Season1 ~百舌の叫ぶ夜~)、ギャラクシー賞2014年7月度月間賞(MOZU Season2 ~幻の翼~)



連続ドラマW
そして、生きる
WOWOWで全6話を放送後、番組を再編集して2時間の劇場版を製作。WOWOW初となる全国公開規模での単独配給を実現。



連続ドラマW
コールドケース ~真実の扉~
東京ドラマアワード2017特別賞、ABU賞ドラマ部門ファイナリスト選出



連続ドラマW
バンドラ
平成20年日本民間放送連盟賞 番組部門 テレビドラマ番組 優秀賞、東京ドラマアワード2008 作品賞 連続ドラマ部門 グランプリ/脚本賞/演出賞、ギャラクシー賞2008年4月度月間賞



連続ドラマW
空飛ぶタイヤ
平成21年日本民間放送連盟賞 番組部門 テレビドラマ番組 優秀賞、第26回ATP賞テレビグランプリ2009 グランプリドラマ部門 最優秀賞、東京ドラマアワード2009 連続ドラマ部門 優秀賞



連続ドラマW
坂の途中の家
2019年日本民間放送連盟賞 番組部門 テレビドラマ番組 優秀賞、第36回ATP賞ドラマ部門 優秀賞

WOWOWオリジナルドキュメンタリー

ノンフィクションW

大人の知的好奇心を刺激するノンフィクション・エンターテインメントとして2009年に放送を開始したオリジナルドキュメンタリーシリーズ。そのクオリティは国内外で高く評価され、国際エミー賞や日本放送文化大賞をはじめ、これまでに数多くの賞を受賞しています。



ノンフィクションW
撮影監督ハリー三村のヒロシマ ~カラーフィルムに残された復興への祈り~
第44回国際エミー賞 芸術番組部門、平成28年日本民間放送連盟賞 番組部門 テレビ教養番組 最優秀



ノンフィクションW
映画で国境を越える日 ~映像作家・ヤン ヨンピという生き方~
第9回日本放送文化大賞 グランプリ(テレビ)、第30回ATP賞テレビグランプリ2013 ドキュメンタリー部門 奨励賞



ノンフィクションW
齊藤工 DEAR FILMS...
俳優、映画監督、気鋭のアーティストとして活躍の場を広げる齊藤工の1年をスケッチ。彼の心に潜る「映画への想い」を至近距離からあぶり出し、その根源に迫る!

パラリンピック・ドキュメンタリーシリーズ

WHO I AM

パラリンピック・ドキュメンタリーシリーズ「WHO I AM」は、WOWOWとIPC(国際パラリンピック委員会)との共同プロジェクトとし2016年にスタートし、東京パラリンピック開催を見据え世界最高峰のバラスリートに迫る大型シリーズです。



IPC&WOWOWパラリンピック・ドキュメンタリーシリーズ WHO I AM

WHO I AM シーズン1 (エリー・コール):平成29年日本民間放送連盟賞 特別表彰部門 青少年向け番組 優秀
WHO I AM シーズン2:第46回国際エミー賞 ドキュメンタリー番組部門 ノミネート、第23回 アジア・テレビジョン・アワード ドキュメンタリーシリーズ部門 ノミネート
WHO I AM シーズン2 (ベアトリチエ・ヴィオ):平成30年日本民間放送連盟賞 特別表彰部門 青少年向け番組 優秀、ABU賞 テレビ・スポーツ部門 最優秀賞 / (森井大輝):第49回科学放送高柳賞 最優秀賞、第60回科学技術映像祭 文部科学大臣賞 研究・技術開発部門受賞
WHO I AM シーズン4 (カーティス・マクラス):第10回衛星放送協会オリジナル番組部門「ドキュメンタリー」最優秀賞、2020年日本民間放送連盟賞 特別表彰部門 青少年向け番組 優秀

オリジナル番組

ミュージカル、アート、サウナ番組など、さまざまなジャンルにフォーカスしたオリジナル番組を制作しています。



福田雄一×井上芳雄
グリーン&ブラックス



CONTACT ART~原田マハと名画を訪ねて~ シーズン2



サウナーズ2 磯村勇斗×北村匠海

WOWOW オリジナル

WOWOWでは番組の放送・配信のほかにオリジナルイベントの開催や映画製作にも取り組んでいます。

WOWOW オリジナルイベント

富士山の麓で極上の音楽に包まれるキャンプフェス「FUJI&SUN」をはじめとして、武部聡志が選ぶ“100年後も聴き続けてほしい名アルバム”を、その音楽のDNAを受け継ぐ後輩アーティストが再現する一夜限りのショー「SONGS&FRIENDS」や、米英で上映された伝説のディズニーミュージカルを日本に初上陸させた「ディズニー・ブロードウェイ・ヒッツ」など、数々のライブやコンサートを主催しています。また、イベントと連動した形での番組や配信企画なども行っております。



FUJI&SUN



SONGS&FRIENDS 佐野元春『Café Bohemia』

ディズニー・ブロードウェイ・ヒッツ

WOWOW FILMS

2007年に立ち上げた劇場用映画レーベル「WOWOW FILMS」。徹底してクオリティにこだわったエンターテインメント性の高い映画を企画・製作し、日本のみならず世界の映画ファンへお届けしています。WOWOWオリジナルドラマと連動した大型作品から海外映画祭に出品される作品など、WOWOWならではの多岐に渡る製作展開で、多くの映画ファンを魅了してきました。



太陽は動かない

岸辺の旅

ミュージアム

第68回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門 監督賞
第10回アジア・フィルム・アワード 最優秀助演男優賞(浅野忠信)
第70回毎日映画コンクール 日本映画優秀賞
第92回キネマ旬報ベスト・テン 主演女優賞(深津絵里)

詳しくはこちら▶
wowow.bs/ci_wf



優れたエンターテインメントは、たったひとりでは生まれない。

WOWOWが世に送り出すエンターテインメントやサービスの数々は、多くの社員たちによって生み出されています。各部署の社員たちが、現在のプロジェクトに対する想いや課題、今後の展望などを、熱く語ります。

WOWOWならではの 感動のライブ配信を 提供したい

メディアビジネス局
WEBサービス部

小野邊 智

新卒ではIT企業に就職したのですが、もともとTVやエンターテインメント業界には強い興味を持っていました。前職ではシステムの開発をしており、その経験を活かせるのではないかという想いでWOWOWのIT部門の中途採用に応募しました。2013年の入社後、最初に配属された開発部ではWOWOWのWEBサイトや顧客情報の管理に関する仕事に従事し、その後、異動したICTイノベーション部では従来の放送・配信とは異なる新しい事業、サービスを提案する仕事をしてきました。



2019年7月より所属している現WEBサービス部ではWOWOWの配信サービスの統括を担当しており、今年1月の「WOWOWオンデマンド」の立ち上げやB-CASカードがなくてもWOWOWに加入できる新たな加入ルートの構築などに携ってきました。今後もお客様の利便性をより高めるサービスを順次加えていく予定です。いま、世の中には様々な配信サービスがあります。また、TVを持たずに配信だけでコンテンツを楽しむという人も増えていくと思います。そんな中で私が感じるWOWOWの強みは映画やオリジナルドラマに加え、音楽やスポーツをライブで提供できるということだと思います。今後、他社のサービスに追いつき、追い越していくために、ライブ体験をより多くの人々に配信で楽しんでいただけるようなWOWOW独自のアプリを提供していきたいと思っています。

WOWOWの企画力と 発信力によって新世代の カルチャーを世に広めたい

コミュニティプロデュース局
コミュニティサービス部

バーガー 美桜

私は周りの人たちに笑わせたり、楽しませたりすることがものすごく好きなんです。就職活動でそんな私のふざけた話に真剣に耳を傾けてくれたのがWOWOWでした。ここでなら自分が面白いと思えることを共有して楽しめるんじゃないかと思って入社を決めました。2019年に入社して配属された営業部では、外部企業と提携してWEBキャンペーンを実施し新規加入を促進する仕事に従事しました。2020年8月には新設されたコミュニティサービス部に異動。従来の放送・配信による一方通行のサービスではなく、お客様と



インタラクティブにやり取りをするために、ジャンルやコンテンツごとにコミュニティを作り、ファンを巻き込んでより「好き」を深めていく方法を考える仕事をしています。現在の担当はスケートボード、BMX、パルクールなどストリート発祥の若者向け都市型スポーツ・アーバンスポーツです。本格的な活動はこれからですが、まずはスポーツ部と協力して新たな番組を企画したり、YouTubeでオリジナルの動画を配信するなど、地上波ではなかなか扱われないものの、アーバンスポーツのファンが愛してやまない内容を紹介しつつ、より多くの人にアーバンスポーツを知ってもらえるきっかけにもなればと思っています。WOWOWや番組という枠を超えて、ファッションや音楽を含めたアーバンスポーツというカルチャーそのもののプロモーションに取り組んでいきたいです。

進化する技術をいかにビジネスと つなげるか? “技術屋”の視点で 番組をよりリッチに!

技術局
技術企画部

篠田 成彦

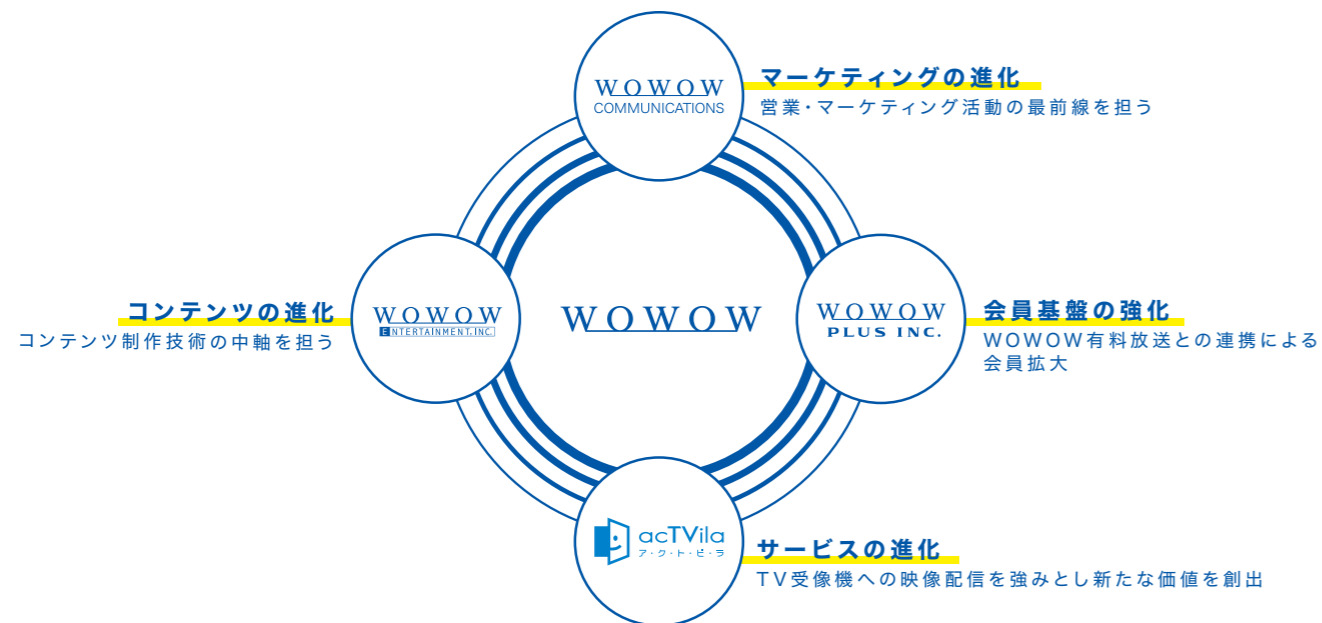
WOWOW開局前の1990年に入社し、マスター(放送送出)業務を7年ほどやったのち、制作技術部でビデオエンジニア(VE)の業務に就きました。ライブやスポーツ中継の現場を“整備”するのがVEの仕事ですが、中でも印象深い仕事のひとつが2013年のザサンオールスターズの茅ヶ崎公演での、空中からの映像の生中継です。FPU(Field Pickup Unit)という無線の伝送機器を、当時はマルチコプターと呼ばれていたドローンに搭載し、映像を電波に乗せて飛ばすという試みを、日本で初めて成功させました。こうした空撮技術はさら



に進化し、ドラマ『トッカイ』、『コールドケース』シリーズなどでも活用されています。近年では、社内での企画募集をきっかけにドキュメンタリー制作にも関わっており、ジェット戦闘機に搭載したカメラで、音速突破の瞬間や成層圏から見た地球の様子を撮影した「BLUE HORIZON 成層圏から見た地球」、世界最大の洞窟を8K/HDRで撮影した「THE GREAT BELOW 世界最大の洞窟 ソンドン探検記」、バヌアツの活火山をカメラで捉えた「VERMILION 赤く輝く神の山“ヤスール”」などに携わりました。求められているのは、高い技術を自己満足で終わらせず、ビジネスとして“芯を食った”企画につなげていくこと。世界のコンテンツ業界の潮流として、映像テクノロジーの重要性がより高まって来た昨今、我々の技術を“ちょい足し”することで番組のクオリティを少しでもリッチなものにすることができれば嬉しいです。

関連会社

卓越したエンターテインメントが集まる場に進化し、新鮮な驚きと感動を提供する独自のプラットフォームを目指してまいります。



株式会社WOWOWコミュニケーションズ



コンタクトセンター受託運営を始め、Web・SNS・メール等のデジタルマーケティング支援、お客様一人ひとりのデータを可視化し次の一手につなげるデータマーケティング、旅行や通信販売まで、顧客接点に関わるプロフェッショナルとして、クライアント企業の課題にあわせたソリューションを提供します。

〔業務内容〕 テレマーケティングサービス(各種コールセンター受託運営、カスタマーセンター構築ソリューションをはじめとする顧客管理業務全般、コールセンター応対品質コンサルティングや教育・研修、会員サービス事業・事務局代行) / デジタルマーケティングサービス(SNSサポートサービス、メールマーケティング、Webサイト構築・アプリ開発) / データマーケティングサービス(VOC分析、CDP構築・運用支援・マーケティングリサーチ・データコンサルティング) / 物販・旅行事業(通信販売事業、旅行事業(ツアー企画))

本社 〒220-8080 神奈川県横浜市西区みなとみらい4-4-5 横浜アイマークプレイス3F
本社分室 〒220-8080 神奈川県横浜市西区みなとみらい4-4-2 横浜ブルーアベニュー6F

WOWOWエンタテインメント株式会社



音楽・スポーツ・ステージなどの中継・収録業務を中心に、マスター業務、WEB配信業務、回線業務、CC字幕制作など番組を支える技術会社であるだけでなく、番組の制作や調達、海外ドラマの吹替版制作、映画・ドラマの字幕版制作、パッケージ制作、アーティスト関連商品の販売、著作権管理などコンテンツに幅広く関わっています。

〔業務内容〕 番組の中継・配信、マスター監視、放送番組制作、放送番組字幕制作、映像コンテンツ調達、CD、DVD、アーティスト関連商品の企画・制作・販売、音楽著作権管理

本社 〒135-8080 東京都江東区辰巳 2-1-58 WOWOW放送センター

株式会社WOWOWプラス



衛星放送事業として「WOWOWプラス」「歌謡ポップスチャンネル」を運営、「Cinefil」ブランドのDVD/Blu-ray出版、劇場配給、ライセンス事業、ホテル向け映像配信事業など、幅広く展開。

WOWOW プラス ヒット作から名作まで、様々な映画を高画質&途中CMなしで放送。WOWOWオリジナルドラマ、人気アーティストの音楽ライブ、世界最高峰のスポーツも充実。

歌謡ポップスチャンネル ヒット演歌、話題の歌謡曲、昭和の時代から今なお歌い継がれる永遠の名曲を愛する大人のための音楽チャンネル。人気歌手のコンサートや懐かしい貴重な映像、演歌・歌謡曲の最新情報オリジナルコンテンツを中心に放送。

〔業務内容〕 BS/CSデジタル放送、放送番組の企画・編成、自社番組制作および映像制作受託、DVD/Blu-rayの企画・制作・発売、ホテルのPAY TVシステム企画・販売・運営・コンテンツ供給

本社 〒107-6117 東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル17F

株式会社アクトビラ



テレビを核とした映像配信プラットフォーム事業を展開。VOD、4K配信、ハイブリッドキャストなど、最先端の映像配信技術で次世代のテレビでの動画視聴に幅広く対応します。放送を入口に配信サービスとの自由な行き来を可能とする放送通信融合や、放送・映像の高度化といった「未来のテレビ」の実現を目指します。

「テレビをネットにつなぐだけでなく、良質で厳選された情報・動画コンテンツを楽しめるサービス」としてはじまったアクトビラ。日本の主要なテレビメーカーのデジタルテレビに対応し、4Kを含む高画質・高品質の映像をご家庭のテレビに配信しています。

〔業務内容〕 デジタルテレビを中心とするマルチデバイス向け映像配信プラットフォーム事業
本社 〒107-6117 東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル17F

技術・サポート

最新の技術でWOWOWの番組を支える辰巳放送センター

4K収録にまつわる作業拠点の拡充や多様化する国内外の映像回線に柔軟に対応する回線センター、WOWOWオンデマンドの配信をスピーディーに行うWeb配信センター、貴重な収録・編集素材をすべて保存するアーカイブ室など、体制を日々進化させています。さらに、5.1chサラウンドの2カ国語放送に対応する設備や最新鋭のスピーカー導入により、音楽ライブやスポーツの臨場感が向上。とりわけ自社グループの技術スタッフを中心となって制作する音楽ライブ生中継はアーティストからの信頼も厚く、卓越したカメラワーク、スイッチング技術、録音技術により、まるで会場にいるかのような体験を視聴者に提供しています。また、オリジナルドラマの4K HDR^(※)での制作や日本でも数少ない3Dオーディオ制作環境を備えた試写室での音声制作など、常に次世代を見据えた取り組みを続けています。

(※)HDR:ハイダイナミックレンジの略。映像の持つ輝度の幅を拡大する技術で、一番明るい部分から暗い部分まで表現することが可能になる。

お客様とのフロントラインにカスタマーセンター

すべてのお客様へ行き届いたサービスを提供することが「No.1プレミアム・ベイチャンネル」の使命と考え、札幌・横浜・大阪・沖縄の4カ所に最新鋭のシステムを導入したカスタマーセンターを設置しています。お客様の気持ちに寄り添い「One to One」のおもてなしを実現するため、顧客マーケティングデータを蓄積・分析。「何を見たいのか」にとどまらず「なぜ見たいのか」という視点で、視聴者の皆様とコミュニケーションを図っています。「WOWOWオンデマンドの使い方がわからない」「こんな番組が見たい」など視聴者一人ひとりの声をお聞きして、これからはきめ細かなサポートやフォローを行い、エンゲージメントを高めていきます。

WOWOW Lab

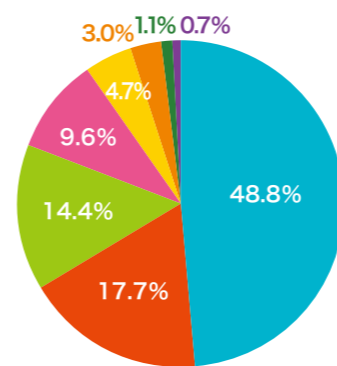
映像/音声/xR/ICT・配信技術など様々なジャンルのテクノロジーを使って、新しいエンタメコンテンツやサービスの可能性を追求・創造する実験活動です。様々な企業・アーティスト・エンジニア・クリエイターと社内外問わずコラボレーションしています。

詳しくはこちらへ▶ wowow.bs/ci_wl



放送実績

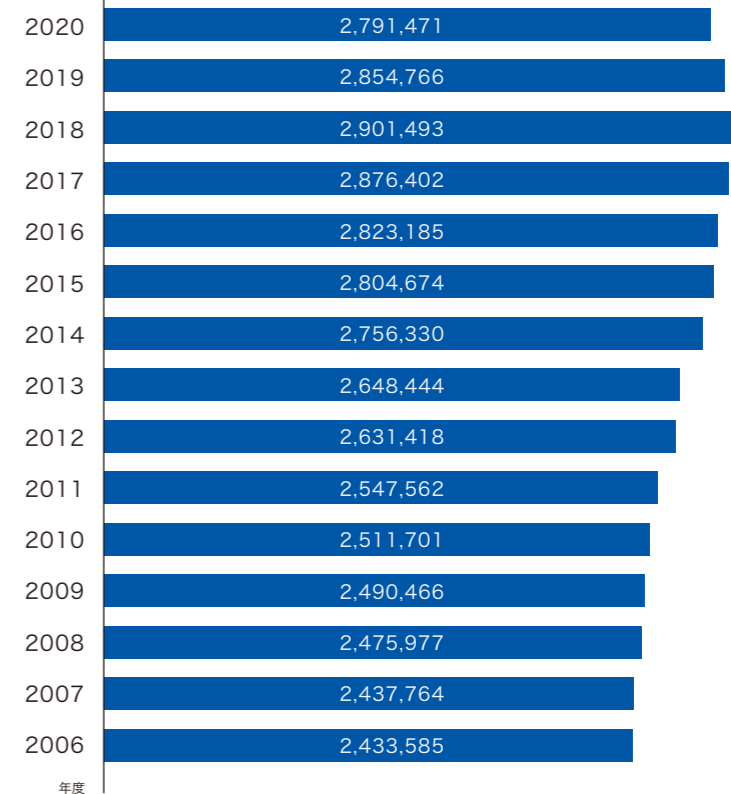
2020年度ジャンル別放送実績



| | |
|----------|-------|
| 映画 | 48.8% |
| スポーツ | 17.7% |
| ドラマ | 14.4% |
| 音楽 | 9.6% |
| ステージ | 4.7% |
| 情報/バラエティ | 3.0% |
| アニメ | 1.1% |
| ドキュメンタリー | 0.7% |

WOWOW 加入件数の推移

(過去15年分)



沿革

- 1984年 初の民間衛星放送会社「日本衛星放送(現WOWOW)」設立
- 1989年 チャンネルの愛称を「WOWOW」と決める
- 1990年 東京・中央区に視聴者サービスセンターを開設、東京・江東区に放送センターが完成
サービス放送開始(12時間、無料放送)
- 1991年 開局 営業放送開始(24時間、有料放送)、ハイビジョン試験放送開始、在京キー5局の送出業務受託
- 1992年 累計正味加入契約数100万世帯突破(世界の有料テレビ史上最短)
- 1996年 累計正味加入契約数が200万世帯を突破
- 1998年 横浜カスタマーセンター開所 累計正味加入契約数250万世帯を突破
- 2000年 社名を「株式会社WOWOW」に改める、BSデジタル放送を開始
- 2001年 東京証券取引所マザーズに株式上場
- 2003年 「ドラマW」放送スタート 第1回作品は「センセイの鞆」
- 2005年 創業以来、初の配当を実施
- 2010年 スカパー! HD(621~623ch)で放送開始、IPTVサービス「ひかりTV」で放送開始
- 2011年 東京証券取引所 市場第一部へ上場市場を変更、BSアナログ放送終了
- 2012年 加入者限定無料番組配信サービス「WOWOWメンバーズオンデマンド」開始
- 2013年 初の4K制作ドラマ「ドラマW チキンレース」放送
- 2014年 WOWOW×TBS共同制作 連続ドラマ「MOZU」放送
- 2015年 グランドスラム4大会すべてで車いすテニスを放送、初の4K HDR制作ドラマ「連続ドラマW 海に降る」放送
クローズドキャプション字幕放送を開始
- 2016年 IPC×WOWOW パラリンピック・ドキュメンタリーシリーズ「WHO I AM」放送開始
- 2017年 株式会社アクトピラ、株式会社IMAGICAティーヴィの株式を取得して子会社化
- 2018年 放送のネット同時配信を開始
- 2019年 スカパー! 110度で放送開始
- 2021年 「WOWOWオンデマンド」開始、「WOWOW 4K」開局

会社情報

| 会社概要 | 取締役および監査役 | 株式の状況(2020年9月30日現在) |
|---|--|--|
| 社名 株式会社WOWOW | 代表取締役社長執行役員 田中 晃 | 発行済株式の総数 28,844,400株 |
| URL WOWOW オンライン https://www.wowow.co.jp コーポレートサイト https://corporate.wowow.co.jp WOWOW開局30周年記念サイト https://30th-anniversary.wowow.co.jp | 代表取締役副社長執行役員 黒水 則顯 取締役専務執行役員 山崎 一郎 取締役常務執行役員 熨斗 賢司 取締役常務執行役員 水口 昌彦 取締役常務執行役員 田代 秀樹 取締役執行役員 山本 均 取締役執行役員 尾上 純一 取締役(非常勤) 飯島 一暢 取締役(非常勤) 石川 豊 取締役(非常勤) 草間 高志 取締役(非常勤) 石澤 顕 取締役(非常勤) 大友 淳 監査役 山内 文博 監査役 利根川 一 監査役(非常勤) 梅田 正行 監査役(非常勤) 高橋 秀行 | 株主数 22,931名 主な株主(2020年9月30日現在) 株式会社フジ・メディア・ホールディングス 株式会社東京放送ホールディングス 日本テレビ放送網株式会社 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・株式会社電通口) STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部) エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 |
| 主な事業 放送法に基づく基幹放送事業および一般放送事業 | | 決算ハイライト(連結)(2019年度) 売上高 82,450百万円 営業利益 8,489百万円 経常利益 9,225百万円 親会社に帰属する当期純利益 5,072百万円 |
| 放送チャンネル デジタル放送 テレビ BSデジタル191、192、193ch BS4K 9ch データ放送 BSデジタル791、792ch | | 財務ハイライト(連結)(2019年度) 総資産 90,024百万円 負債合計 29,468百万円 純資産 60,555百万円 |
| 設立 1984年12月25日 | | |
| 営業放送開始 アナログ放送 1991年4月1日 (2011年7月24日に終了) デジタル放送 2000年12月1日 4K放送 2021年3月1日 | | |
| 資本金 50億円 | | |
| 従業員 287名(2020年12月31日現在) | | |
| 所在地 〒107-6121 東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル21F Tel.03-4330-8111 (代表) | | |

2021年4月1日にWOWOWは開局30周年を迎えました。
30年間の感謝と共に、WOWOWはこれからも皆様に
「見るほどに新しい出会い」をお届けしてまいります。



30の『◎』のデザインは樹木の年輪をイメージしています。

開局30年の歴史が刻まれた証と、
WOWOWが未来へ向かって成長を続けるというメッセージが
込められています。

また、1つとして同じものが存在しない年輪。
それが「WOWOWらしさ」を表現しています。

年輪の6つの輪はWOWOWの放送チャンネルである
プライム・ライブ・シネマ、新たに放送が始まった4Kチャンネルと
WOWOWオンデマンド、そして、WOWOWプラスを合わせた
6つの軸を表しています。



WOWOW